

竹林の風

～ すべては学校のため すべては子どもたちのため ～

栃木県教育委員会事務局
河内教育事務所
令和6年1月19日
発行責任者 西村和孝
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/
kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第72号



学校と地域の連携・協働活動を考える

今年度は、学校行事や地域イベントが復活しましたが、活動の在り方や方法を模索してきたことをよく耳にします。

そこで今回は、学校と地域の連携・協働活動を企画する上で、念頭に置きたいことを考えてみたいと思います。



学校と地域の連携・協働活動の充実に向けて

- 子供の成長を高めるものになっていますか？
- 地域ぐるみで子供を育てる、地域とともにある学校を目指していますか？
- 人と人をつなぎ合う、学校を核とした地域づくりを目指していますか？

目的の明確化、地域と目標やビジョンの共有
発達の段階に応じた活動、今ある活動を工夫する 等

子供たちの成長した姿

瑞穂野中・姿川中地域未来会議より

宇都宮市の中学校では、生徒会代表者等が、地域の方々と世代を越えて学校や地域の未来などについて議論する「地域未来会議」を実施しています。今回、瑞穂野中学校（11月18日）姿川中学校（11月22日）からファシリテーションの依頼を受け実施した様子を紹介します。

瑞穂野中学校



瑞穂野中学校では、テーマ「瑞穂野地域の未来を語ろう」のもと、生徒19名と地域協議会委員4名で意見交換を行いました。

生徒は、地域の方々から昔の学校近隣の様子や地域イベント等の話を聴き、瑞穂野地域の自然や人々の温かさに気付いていました。そして、生徒と地域の方で、地域の素晴らしさを再認識していました。また、生徒からは「地域の方々の良さや団結力の強さについて共有できました。」「地域での挨拶やお祭り等のイベントを通して、地域が仲良くなれば地域が良くなっていくので、これからは他の人のために精一杯努力したいです。」など、今後、自分が地域のためにできることを真剣に考えていました。

姿川中学校



姿川中学校では、姿川地区の未来について、「自分たちができること」を地域の方々と語り合いました。

生徒10名と地域協議会委員6名が、姿川地区の自慢を語り合い、より良い地域にしようという共通の目標を共有し、熱心な話し合いになりました。また、生徒からは「地域との関わりを大切にしたいです。自分の地域を知るために、興味を持ち、身近なところの変化を大事にしたいです。」「地域を変えるのではなく、地域の人を変えるということが分かりました。挨拶やゴミ拾いなど、身近なところでも、自分で何かできるようになりたいです。」などといった感想が聞かれ、ふるさとを愛する思いを強めていました。

学校と地域の連携は手段であって目的ではありません。これからの時代を生き抜く力の育成が求められる中、普通の教室だけでは得ることができない力が「地域」にはあります。これからも、学校と地域が連携・協働しながら、将来の担い手である子供たちの成長を育むことが期待されます。

地域の方々との熟議を通して



北小学校の熟議の様子

上三川町立北小学校では、学校運営協議会において、子供の成長につながる熟議を3年連続で実施しています。

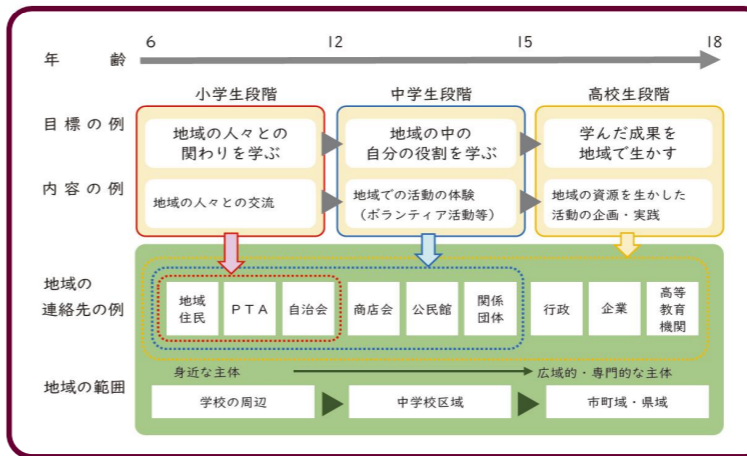
今年度は熟議テーマを「地域の力を子供たちにどう活かすか」にしたところ、かんぴょう体験や防犯土囊体験など、地域の人材や資源を活かした活動のアイデアが数多く出ました。特に、地域参加の愛校タイムや挨拶運動放送呼びかけなど、今ある活動をちょっと工夫すると、より充実した活

動につながる

といった意見は、とても参考になったようです。3年間の熟議を通して、互いに意見が言いやすく、多くのアイデアや提案が出されるようになりました。地域の方々は、「子供たちのロールモデルになる大人の存在が大切である」などと述べていました。また、子供たちや学校への関心を持ち、ともに子供たちを育てる意識が高くなっていることを実感している様子が見られました。

活動ありきでなく、学校と地域が膝をつき合わせ、「どのような子供たちを育てたいのか」「何を実現したいのか」を話し合うことから始めると、地域ぐるみの教育となるかもしれません。

発達の段階に応じた目標や内容・連携



左の図は、学校と地域の連携・協働活動を行う際の目安を表しています。子供の発達の段階によって、目標及び活動の内容は異なり、それに伴い地域の連絡先や地域の範囲が変わることが分かります。

小学校は、「地域の人々との関わりを学ぶ」ことを目標とし、多くの地域の方との体験や交流活動を実施することが望まれます。

中学校では、「地域の中の自分の役割を学ぶ」とし、学校外での活動を重視し、ボランティア活動や地域イベントに参画するなど、地域貢献活動が期待されます。

連携・協働活動、その先に！

学校と連携・協働した活動は、地域にとって、どんな効果をもたらすのでしょうか。

地域の方々が、子供たちと一緒に活動することで、子供の成長を学校とともに実感することができます。また、子供たちを地域で育てるという責任感を持つとともに、自己有用感の向上等が期待できます。さらに、人と人が結び付き、活動する仲間が増え、地域の活性化にもつながります。

地域とともにある学校づくりを進めることは、人と人をつなげる接着剤となり、地域づくりに寄与する、まさに、学校を核として地域を創ることにつながります。



キャンドルナイト（上三川町）

12月2日（土）に上三川町役場西側駐車場で「キャンドルナイトかみのかわ」が行われました。町内の子供たちの描いた2000もの絵とLEDキャンドルの光が創り出す幻想的な風景が人々を魅了しました。